

別紙様式（Ⅲ）-3【添付ファイル用】

商品名：記憶サポート

原材料及び分析に関する情報

第1 生産・製造及び品質管理の体制		
(1) 機能性関与成分を含む原材料名（届出食品が生鮮食品の場合は除く）	イチヨウ葉エキス	
第2 食品の分析		
(2) 機能性関与成分の定量試験	試験機関の名称	一般財団法人日本食品分析センター（登録試験機関）
	試験機関の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 登録試験機関又は登録検査機関 <input type="checkbox"/> 農業試験場等（生鮮食品に限る） <input type="checkbox"/> その他の第三者機関 <input type="checkbox"/> 届出者又は利害関係者
	分析方法を示す資料	<input type="checkbox"/> 標準作業手順書 <input checked="" type="checkbox"/> 操作手順、測定条件等できる限り試験方法について具体的に記載した資料
	届出者又は利害関係者で分析を実施する場合、その合理的理由	
(3) 安全性を担保する必要がある成分の定量試験 <input checked="" type="checkbox"/> あり (成分名：ギンコール酸) <input type="checkbox"/> なし	試験機関の名称	一般財団法人日本食品分析センター（登録試験期間）
	試験機関の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 登録試験機関又は登録検査機関 <input type="checkbox"/> 農業試験場等（生鮮食品に限る） <input type="checkbox"/> その他の第三者機関 <input type="checkbox"/> 届出者又は利害関係者
	分析方法を示す資料	<input type="checkbox"/> 標準作業手順書 <input checked="" type="checkbox"/> 操作手順、測定条件等できる限り試験方法について具体的に記載した資料
	届出者又は利害関係者で分析を実施する場合、その合理的理由	
(4) 届出後における分析の実施に関する資料（機能性関与成分及び安全性を担保する必要がある成分）	機能性関与成分	
	分析方法、代替指標の場合はその成分名を併記	試験機関の名称（あらかじめ規定されている場合のみ）及び分析機関の種類
	高速液体クロマトグラフ	一般財団法人日本食品分析センター（登録試験機関）

別紙様式（Ⅲ）-3【添付ファイル用】

	法（イチョウ葉由来フラボノイド配糖体）			
	液体クロマトグラフ-質量分析法（イチョウ葉由来テルペンラクトン）	一般財団法人日本食品分析センター（登録試験機関）		
	安全性を担保する必要がある成分			
	分析方法、代替指標の場合はその成分名を併記	試験機関の名称（あらかじめ規定されている場合のみ）及び分析機関の種類		
	液体クロマトグラフ-タンドム型質量分析法（ギンコール酸）	一般財団法人日本食品分析センター（登録試験機関）		
(5) 届出後における分析の実施に関する資料（原料の基原の確認方法及び製品の崩壊性試験等を実施する必要がある場合、その方法及び頻度） <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	確認する項目（基原等）及び試験方法	試験機関の名称及び種類	確認の頻度	その他
	製品の崩壊性試験（日本薬局方）	株式会社ファンケル美健（利害関係者）	ロット毎	
(6) その他特記すべき事項	機能性関与成分を含む原材料について、原料メーカーにて以下の項目が管理されていることを確認している。 ・原料の基原：トレーサビリティー ・機能性関与成分：イチョウ葉由来フラボノイド配糖体およびイチョウ葉由来テルペンラクトンの含有量。 なお、イチョウ葉由来フラボノイド配糖体はケルセチン、ケンフェロール、イソラムネチンの合計量、イチョウ葉由来テルペンラクトンはギンコライドA, B, Cおよびピロバライドの合計量。 ・安全性を担保する必要がある成分：ギンコール酸の含有量が1ppm以下であること。なお、ギンコール酸はギンコール酸C15:1で管理することにより製品でのギンコール酸含有量を管理している。			

注) 機能性関与成分が複数ある等、本様式に記載しきれない場合は、適宜記入欄を追加し、必要な事項を記載すること。